

## CAVOKV 航海日誌 8

8月1日/Sali-15日/Venezia

### 8月17日松崎氏からのメール(Venezia)

約1か月のクロアチアの航海を楽しみ8月10日にヴェネチアに着きました。

クロアチアではのんびりセーリングでアンカーリングしたりブイに係留したりマリーナに入ったりしながらアドリア海の自然を楽しみ、又古代ローマから中世に至る歴史を遺跡で触れることが出来ました。

クロアチアは10年前の独立内戦が嘘のような明るい国でした。そして現在海洋レジャーに力を入れているようでマリーナの施設も整っておりヨットでの訪問には最適な環境でした。

まだまだ居たかったクロアチアでしたが9月に又来ますので風の良い日を選んで10日の日にイストラ半島のロビーニからヴェネチアへ渡りました。

アドリア海横断は良い風に恵まれ55NM を8時間で横断出来気持ち良いセーリングでした。ヴェネチアではサン・マルコ広場を運河から眺望してマリーナに入りました。これでイタリア4大海洋都市ジェノバ、ピサ、アマルフィ、そしてヴェネチアを海から入ることが出来感無量でした。

ここで約20日間 CAVOKVを停泊させ、暫くヴェネチア、ミラノを観光した後一時帰国して8月31日から今年の後半の航海をする予定です。

8月31日からはクロアチアを南下してモンテネグロ、ギリシャそしてエーゲ海クレタ島までの航海を予定しています。後半のスタートからは29年卒小田切先輩ご夫妻、45年卒上田佐和子さんと一緒にすることになっていますのでにぎやかになり楽しみです。

皆様の声援と支援でサルデーニャからヴェネチアまで無事航海が出来ました。ありがとうございました。

後半も安全運航で航海したいと思っていますので皆様よろしくお願い致します。

Venezia にて

CAVOKV 松崎義邦

## 航海日誌

8月1日(水)Sali 快晴

昨日ここからフェリーで行くと40分でZadarに行けることが分かったので11:20発のフェリーで出かける。

夏休みを島で楽しみに沢山の旅行客がフェリーから降りてくる。入れ替わりに乗船して夏のバカンスのお客さんになって景色を楽しむ。ザダルは歴史の古い町で紀元前 9 世紀にすでに先住民のイリュリア人が住んでいた。紀元前 3 世紀頃からローマ人が侵入し始め紀元前 1 世紀にローマが、この地を支配した。

旧市街地の広場にはローマ時代の遺跡が残っている。その中でローマ時代の柱「恥の柱」は原型のまま残っている。

この柱はローマ時代に悪事を働いた者が、ここに晒されたそう。紀元 800 年代に建てられた聖ドナツ教会の列柱にはローマ時代の柱がそのまま混じって使ってあったり、土台にローマの遺跡を利用してしたりしてある。建物だけで歴史を物語っている。

ザダルの歴史的に有名な事件は十字軍が同じキリスト教の町ザダルを 1202 年ヴェネチアの要請で襲い占領したことがあった。

その後ヴェネチアの支配になりレバントの海戦で勝利した記念に建てられたヴェネチアのシンボルである「翼のあるライオン」が彫刻された門も残っていた。

聖ドナツ教会の鐘楼に登り旧市街の全貌とアドリア海を展望する。暫く島めぐりもあって美味しいお肉が手に入らなかったが、ザダルは大きな都市で大きなスーパーマーケットがあり、そこでヒレ肉を買って 15:30 のフェリーに乗り帰る。



日没と同時にほぼ満月の月が上がってきて、何とも言えない空の青色の美しい変化を見ながら夕食を取る。ヒレステーキ、ガーリックポテト、トマトとレタスとピンクオニオンのサラダ、そしてクロアチア産チーズを久しぶりの赤ワインで頂く。

## 8 月 2 日(木) Sali~Brbinj (12NM) 快晴

Sali と同じ Dugi 島にある 12NM 北のブルビニに 09:20 舳いを解き向かう。朝方は風が弱く南東の弱い風を受けて 3 ノット前後のゆっくりした速度で帆走する。

行き交うヨットの殆どが機走だ。途中ジェネカーを久しぶりに張る。暫くすると風もなくなり、我艇も機走する。お昼はおにぎり味噌汁を頂く。冷えたビールが喉を潤し美味しい。

途中から西の良い風が吹き出し帆走するが、折角の良い風なのでこのまま、明日の目的地に直行したかったが、ブルビニの入り江も入りたかったので当初の目的地ブルビニのブイに 13:30 舳う。岩で囲まれた入り江でブイを取った後スターンを岩から取るようになっている。幸い 12 個あるブイの残りの最後のブイに舳うことが出来た。

静かで底までくっきり見えるきれいな入り江だ。早速飛び込む。最近は毎日悦子と水泳を楽しんで

いる。

泳いだ後はシャワーを浴びてビールだ。そしてお昼寝。太陽の下では酷暑だが、デッキの上の日陰では、風も気持ち良く裸だと寒いぐらいだ。そして夜は布団をかけないと寒く過ごしやすい快適な気候だ。

昼寝の後テンダーで隣の入り江の小さなマリーナに行ったら、昨日 Sali で隣だったイタリア艇が来ていた。

夫婦二組でチャータヨットでバカンスを楽しんでいる。

マリーナのある村には、小さなマーケットがあるだけで何もなく、マーケットで地元の方が薦めてくれたクロアチアの名物と云う果実で作った蒸留酒“ラキヤ”を買う。



静かな湖のような海と、澄んだ空ときれいな夕方だ。

アペリテフに今日買ったラキヤを炭酸割で飲む。甘すぎず、スモモの香があり海で飲むのにぴったりの味だった。ポークのニンニク醤油焼き、ガーリックポテト、胡瓜と玉ねぎの和えものと、グリーンサラダ、そしてご飯を頂く。微動だにしない入り江での睡眠は深い。

#### 8月3日(金) Brbinj ~ Zapuntel (15NM) 快晴

今日も昨日と同じ様な行程を辿る。

8:05 にブイの舫いを解き東の弱い追っ手の風を受けて 3~4 ノットでクォーターにしたり、観音開きにしたりジャイブをしながら島々の間を抜けて 12:30 に海峡の両岸に入り江のある Zapuntel の入り江のブイに舫う。

パイロットブックに拠れば人気のあるところと書いてあったのでブイが空いているか心配していたが 4, 5 個のブイが空いていた。周りは低い丘で 360 度青空が広がっているロケーションで入り江にしては見晴らしが良い。

例の如く底まで見えるきれいな海で泳いだ後お昼にミートソースのマカロニをビールで頂き、海風に当たりながら昼寝をする。実に気持ちが良い。

陽が沈んでからいつものようにコックピットで夕食を取る。幸せな時間である。クロアチア産ソーセージ、茹でたジャガイモ、玉ねぎとトマトとレタスのサラダを頂く。こちらのジャガイモは柔らかく美味しい。

#### 8月4日(土) Zapuntel ~ Artaturi(Losinj)(27 NM) 快晴

07:40 にブイの舫いを解き 27NM 先の Losini 島の Artaturi の入り江を目指す。

東から南の追っ手の弱い風を受けて 3 ノット前後の速度でノンビリ走る。最近はお昼前後になると良い風が吹いてくるのだが、今日は吹いてくれず行程の半分近くが機走になった。

土曜日のせいもあってヨットが多数行き交い、ロシーニ島の近くでは最新のレース艇がレースをしていた。クルーはおしゃれなユニホームで揃え、蒼い海と青い空とレース艇と素敵な光景だった。

お昼はアンチョビとガーリック入りのスパゲティを頂く。14:00 に Artaturi の入り江に着く。錨泊地はそれほど混んでなく水深8mの底が砂地の所にアンカーを打つ。早速潜ってアンカーの状態をチェックする。

岸辺は海水浴場で皆さん海水浴を楽しんでいる。クロアチアはいたる所に入り江と海水浴場があり夏の海を楽しむには抜群の環境だ。東欧からもバカンスで皆さん来るとの事だ。ただし東欧は経済状況が厳しいのでキャンピング等を楽しむ方が多いそうだ。

空の色の変化を楽しみながら夕食を取る。錨泊が続いてワインを切らしてしまいワイン無の食事になる。ビールとウイスキーは食事の付き合いにはならない。

今晚のメニューは玉ねぎ、レタス、トマトのサラダ、ダルマチア産ハムと玉ねぎ、鶏肉のカレーライスだ。ここの赤玉ねぎはサクサクして甘さがあり美味しい。

## 8月5日(日)Artaturi~Pula (35NM) 晴れ

錨泊すると夜寝るのが早いのでどうしても早起きになる。今日は 35NM の距離を航海するので起きて、そのまま日の出と共に 06:35 にブイの舫いを解く。

進路北北西に対して風は東南東の弱い風、錨泊のため陸電が使えなかったので 30 分ほど充電のためエンジンを回して機帆走するが、その後ジェネカーを揚げて 3~4 ノットのゆっくりした速度で帆走を楽しむ、島々の関係もあり途中でコースを変えるがそのたびに観音開きにしたり、ジャイブしたりする。

行き交う艇は殆ど機走だ。アドリア海スタイルかもしれない。

いつも快晴で遠くの内陸に若干の雲を見るぐらいだったが今日は昼前から薄い雲が青空の中に点在してきた。夕方前にはその雲もなくなり快晴になった。

イストラ半島の先端にある Pula の ACI Marina のポンツーンに 16:00 に檣付けする。35NM を約 10 時間かけてのセーリングだった。





このマリーナの直ぐ前に、紀元1世紀に作られた初代ローマ皇帝アウグストゥスの治世に建設された円形闘技場がある。保存状態も良く外壁も高く迫力がある。現在もここはコンサート、バレエ、オペラなどの会場にも使われている。残念ながら今晚の公演はなかった。

その他紀元前のローマ時代に作られたアウグストゥスの神殿、ヘラクレス門、スルギウスの凱旋門が当時のままの姿で残っている。今から2000年前のローマ時代の技術は、その時代の物質の背景からしても素晴らしい能力の結晶かと思う。

町中は賑やかで土産物屋さんレストランが軒を並べている。夕食はイストラ半島の名物トリフの入った料理を食べることにして、久しぶりにお湯たっぷりのシャワーを浴びてから出かける。ビストロでトリフ入りのパスタ、ムール貝、手長エビのグリルを食べたが味付けが良く美味しかった。

## 8月6日(月)Pula~Rovinj(18NM) 快晴後曇り

朝市があるので出港前に買い出しに行く。スーパーマーケットでは本当に新鮮だと思える野菜、果物が無いが朝市では溢れんばかりにおいてある。早速ブドウ、ネクタリン、バナナそして野菜を買う。イストラ半島はトリフの産地で有名だが朝市にも出荷されていて早速黒トリフも買う。魚市には新鮮な魚が豊富にあり、塩焼き用に鱈とガンバスをそして肉屋ではステーキ用の肉を仕入れる。

プーラの北西3NMほどの沖合に海洋国立公園ブリュリ諸島があり古代ローマ時代からの貴族の別荘があったところでローマ神殿跡などが残されて、又チトーの別荘があった所でもある。寄ってみたかったが規制が厳しくヨットでの上陸は難しいので諦め、ブリュリ諸島を横目で見ながらロヴィニイに向かう。

真ランの風だったが、ジェネカーでダウンウインドタッキングをしながら帆走を楽しむ。ロヴィニイは人気のある場所でマリーナのバースの確保が難しいので午後の早い時間に到着するようパイロットブックに書いてあったが、満杯なら錨泊するつもりでノンビリ行く。

14:30頃ロヴィニイのACI Marinaに着きVHFでマリーナを呼び出したところ、先行艇があり入り口前で待機しとの事で順番待ちをして舳れを取る。

後1,2艇入った後からは、その後の艇は入れず錨泊地に行っていた。

南からの入港で、間にある島の関係で素晴らしいロヴィニイの旧市街地を入港時見る事は出来なかったなので、舳ってからゴムボートで見に行ったが海からの眺めが素晴らしい町並みであった。

久しぶりに艇を水洗いして、海に飛び込み体を冷やし、クロアチアのリキュール“ラキヤ”とラム酒をミックスしたカクテルが泳いで冷やした体にぴったりだった。

夕食前に今日朝市で仕入れた



ガンバスの塩茹でをビールと白ワインで頂き、夕食はこれまた今日仕入れた肉のステーキを赤ワインで頂く。食後暫くしてシャワーに入りに行くが、ACI Marina は施設が大変整っていてきれいなシャワールームだった。

今日旧市街地を観光出来なかったので明日午前中観光してここでもう一泊今度はブイ泊めにする予定だ。

### 8月7日(火)Rovinj 快晴

朝食後マリーナから歩いて行ける距離にある旧市街地だが、暑さを避けてテンダーで船着き場迄行く。ここも異民族や海賊の襲撃に悩まされた所で旧市街地は城壁が張り巡らされている。10世紀から13世紀にかけて商業の発達を背景に栄え、その後ヴェネチア共和国に組み込まれてさらに発展した。そして島だった町が海峡を埋め立て島から半島に変貌したところだそうだ。

海から見る町並みは丘の上に聖エウフェミア教会の塔を中心に美しい。港の周りはレストランが沢山あり朝からテラスで朝食をとる人で賑わっている。

マリーナに戻り11時に舳いを解きマリーナの直ぐ沖合にある錨泊地に行き、ブイに舳いを取る。このACI Marinaに係留していると700クーナ(93€)するが沖のブイは160クーナで済む。錨泊は陸電、水道は無いが静かで、艇から直ぐ飛び込めるし、自然の中で時の流れをゆっくり楽しめるのが好きだ。

泳いだ後、お昼を生ハムとレタス、ガンバスの塩茹、パンをクロアチア産白ワインで、デザートはブドウを頂く。

そして午後は日よけしたコックピットでシーブリーズを浴びながら心地良い昼寝をする。目覚めた後は海に飛び込みすっきりさせ読書を楽しむ。

夕食は昨日仕入れた鱈とパプリカをデッキ上のBBQ台で塩焼きにして頂く。鱈は脂が薄かったが久しぶりの焼き魚は美味しかった。

### 8月8日(水)Rovinj~Porec(11NM)快晴

08:50ブイの舳いを解き11NM北のポレチュに向かう。充電のため1時間程エンジンを回した後、上りの帆走を楽しみ11:30にポレチュの湾内のブイに舳いを取る。

ブイに舳っている艇はそれぞれ泳いだり、日光浴をしたり楽しんでいる。我々もそれに混じり泳いでから、昼食はビールでスパゲティを頂く。

のんびりデッキで過ごした後、明日“なでしこジャパン”が米国と決勝戦があるのでマリーナの係留の予約を



しに行くが明日艇が空いたら OK との事で予約は取れなかった。

ここポレチュも人気の場所でバースは取りづらい。

又、明後日クロアチアからイタリア、ベニスに向かうので出国の手続きを調べに Harbor master(港湾管理事務所)に行くと1隻分の空きがありその岸壁に係留できるとの事、それも今日から OK との事で早速艇をブイから移動させる。

ここだと出国の際も便利だし、町の中心街なのでラッキーだった。錨泊と違いえらく賑やかな通りの前だが夏の活気をもろに感じる。通りにはレストランが軒を並べてあり CAVOKV の停泊している直ぐ前のレストランで夕食を取ることにする。

今日で三回目のクロアチア名物タコサラダを頼むが 3 回とも味付けが違っていた。貝のリゾット、悦子はヒレステーキをロゼワインの後それぞれ赤、白ワインで食べる。

### 8月9日(木)Porec 快晴後曇り

ポレッチュはイストラ半島の人気のある歴史あるリゾート地で、世界遺産のエウフラシス・バシリカがあると所だ。ビザンチン時代の 6 世紀に建てられた聖堂で美しいモザイクの装飾が素晴らしい。旧市街地の通りにはロマネスク様式の“ロマネスクの家”やゴシック様式の“ゴシックの家”そしてバロック時代の家が並びその家々がショッピングアーケードになっている。

ローマ時代のネプチューン神殿の遺跡もあり、歩いて 20 分以内の所で 1500 年の歴史の変遷を垣間見ることが出来る。エウフラシスの鐘楼からは町並みの景色とアドリア海が美しく見えた。

午前中で町の観光も終わり、昼食後は停泊中のいつものパターンで読書、お昼寝、海水浴で過ごす。明日のクロアチア出国の手順もレビューする。

いよいよ約一か月航海したクロアチアとも暫くのお別れである。一時帰国した後 8 月後半からベニスからスタートして今度はクロアチアを南下してギリシャに行く予定だ。

両サイドの大きなモーターボートが出港したが次に又大きなモーターボートが入港してきて又サンドウイッチ状態になる。

夕食はいつもコックピットで食べるが、岸壁前の通りの人通りが多いので今日はキャビンでステーキ、サラダを赤ワインで頂く。夜遅くまでにぎやかだ。

### 8月10日(金)快晴後晴れ

トリエステまで行く計画を考えたがここ 3 日間は北東風が強く吹く予報なのでトリエステに行くには逆風になるので諦めた。そしてヴェネチアに行くにはこの北東風が追い風になるので今日ヴェネチアに向け出港することにした。

ヴェネチアまで 55NM あるので出来るだけ早い時間に出港したかったがハーバーマスター(海事局事務所)が 8 時からオープンなのでそれに合わせて出港することにする。

8 時前にマリーナの支払いを済ませ、8 時にハーバーマスターでクロアチア出港手続きをして、そ

の後艇を出入国用の警察の岸壁に移し出国手続きを行い、08:30 に岸壁から舳いを解く。前日調べておいたのでスムーズに手続きが運びホットした。

アドリア海を一路 280 度でヴェネチアに向かう。風は予報通りの北北東 20~30 ノットで白波が立っている強風だが、3ポイントリーフしてクォーターで 7 ノット以上の速度で“風は南へ、船は西へ”で快調に走る。

途中風が順風になってきて徐々にリーフを解き最後はフルセールにする。ヴェネチアのラグーンの入りは 3 つあるが北の Porto di Lido の入り口に 16:40 に着く。ポツリチュからヴェネチアの入り口まで 8 時間で到着したのでかなり快速であった。

ラグーンに入ってからサンマルコ広場に近くの予約してある Sant' Elena の“Diporto Velico Veneziano”のマリーナ迄 3NM の距離がある。入国審査の出来る岸壁を探してからマリーナに入ったので舳いを取るのは 18:00 になった。

このマリーナはメンバーズクラブでビジターバースは提供していないがメンバー艇が不在の時バースをビジターに提供するようになっている。前もってイタリア人の知り合いを通して予約しておいた。

ラグーン内は杭で危険な浅い場所と航路と分けてありわかり易いが、行き交う船が多く 360 度見てないと危険だ。これでジェノバ、ピサ、アマルフィ、ヴェネチアとイタリアの 4 大海洋都市を海から入港することが出来た。

夕食は近くのピッツリアで久しぶりにマルゲリータを食べたが、実にチーズとトマトのバランスが良くトマトの酸味も程よく効いて大変美味しかった。

ここで艇を 8 月 31 日まで係留して 18 日に一時帰国する。18 日までは艇の整備とヴェネチアとミラノの観光を楽しむ予定だ。

今年の後半は 29 年卒小田切先輩と奥様、45 年卒上田佐和子さんと一緒に過ごす予定だ。